

prhs
perohasu

八百万男

YAORYOZU
NABURI

や
お
よ
ろ
ず
な
ぶ
り

異界で処女を

競り落とされて

成年
コミック

occupai



prhs
(ペロハス)

5月6日生まれ
O型

元の世界に戻るために容姿・性格に癖のある
神様達へ奉仕することに……という作品です。
これを皮切りに皆さんを惹きつけるお話を
ドンドン描いていきますのでお楽しみに！
また、温かみのある彩色に仕上がってる
電子版もよろしく！

YAORYOZU
NABURI

やおよろずなぶり

異界で処女を競り落とされて

八百万男

perohasu
prhs

目次

CONTENTS

第 1 話		003
第 2 話		029
第 3 話		055
第 4 話		081
第 5 話		107
第 6 話		133
描き下ろし		157

長い長い大学の
夏休みを使って

第1話

従妹の家がある
田舎に遊びに来た

裏山の滝で
水遊びとか
懐かしいなあ

あれ〜？

ボールこっちに
来たと思う
んだけど

ん？

あちち…

これ
祠…かな？

こんな場所に
なんでだろ？

ーねえ



え...?

着物...?
キレイな
人だな...



おかげで
社が壊れたわ



これ...

貴方のでしょうか?



でもなんで
こんな山奥に
一人で?



えええっ
飛んできた
ボールで!?

すみませんっ
あ謝っても
どうしようも
ないですけど

なぜって

ここに
村がある
から

え……

村……
こんな所に……？

私はこの村の
最後の巫女

この村には
千年続く
酷い風習が
あってね

私も耐え難い
仕打ちを永遠と
受けて来たわ

でもそれも
終わり

多くの巫達^{かま}が
犠牲になった

ちよ
ちよと
待って

なんで
私の名前

それは後で
嫌って程解るわ

だから

ここですつと
貴方を待ってた

友里恵^{ゆりえ}

さようなら

次貴方に
会うのは
何時かしら



昼寝してたのに
起きちゃった

うわあっ

人じゃない…?

お鬼!?

そりや中津国
じゃないからな
鬼だっているさ



え…
巫女さん…?



ちよつと
置いてかないで…!

うるせえな

…え



意味わかん
ない…

早く元の
場所に…!



ん?
ああ成程
生身か



ここは黄泉比良坂の端
九十九神の船着き場だ

そう魂が
行き着く処だ

ここに來たって
ことはあんた…
神隠しにでも
あったな

よもつ…?



ほ…
本当に…っ?

はあ

帰りたいんだろ?
ここに
いたってムリだ

送ってやるよ



何処に向かうの？

たかあまはら
高天原だ

島全体が
歓楽街って
いう変わった
島だな

神々の他にも
神隠しに遭った娘が
集ってる場所だ

そこなら
元の世界に
戻る方法もいずれ
見つかるだろう

…本当にそこ
大丈夫なの

さあな？

俺らは船賃もらったら
いつもすぐ帰るからよ

…え
船賃？

なんだあ？
…嬢ちゃん
金持ってんじや
ないのか

え…
だって乗せてやる
って言ってたし

あは…

てっきり
タダかなーって

無銭乗船とは
いい度胸だな
おい…

フム



相棒…
暫くぶりの肴だ
たつぷり味わおうぜ

無茶するなよ
この娘高く
売れそうだ



中々の別嬪じゃねーか
こりや当たりかもなあ

痛—ッ



いでででっ

いや…っ



こいつとんだ
じゃじゃ馬だな



ちょっと待って

お前随分
柔っこい肌
してるなあ

ちょ…っ
どこ触って



ソイツ
押さえとけ

あいよ

ほおこいつは
珠のような肌だ

だろう
目を付けた
俺からだぜ?

おほお
柔つけえ

ひっ

まあそう
急かすない

さつさと
やっちゃって
くんな

嫌...

悪いなあ
嬢ちゃん

最近骨張った
奴ばっかだった
からなあ

おっちゃん達
溜まってんだよ...



おお
デケエぞ

やだやだやだ…っ

タツプリと
しゃぶり
尽くしてやる
からなあ

このままじゃ
私…!!

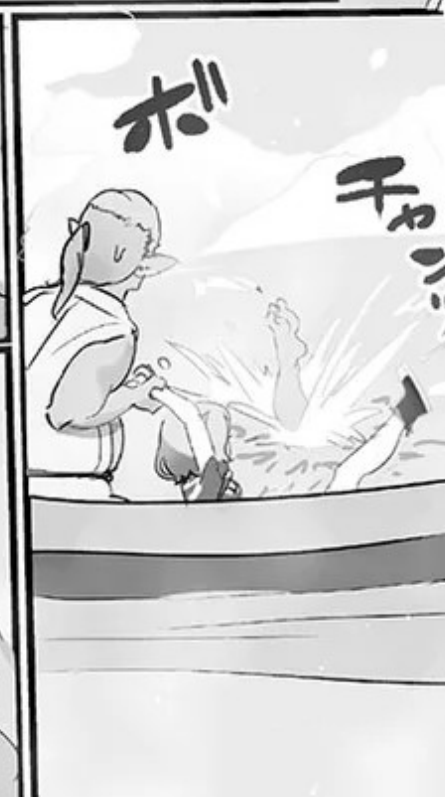


さて乳の具合は
どんなもんかね

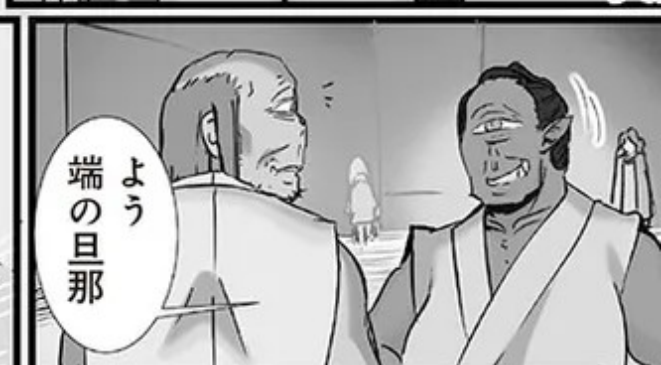
…固ってえな
なんでえこの服



とりあえず
売っちゃおうか



ふぐう



おや…
これは

ぶふっ

た助けてくださいいっ
追われてるの！

その方ソイツ
捕まえてくだせえ

端の船主か
中々の娘だな

にんきり

おやなんでも
女衞の旦那
だったんです
かい

萎びた婆ばかり
売っていたお前にも
ツキが巡って来た
のだな

こいつは
ウチで
買うよ

えっ

逃げられる
チャンスだったのに…

人買いに
助けを求め
ちやうなんて

ちよ…
貴方が人買い!?

その通りだ
さ行くぞ



腹はすいてないか？
何か食べれる物を
買って来よう



しばらく坂道を
行くから辛く
なったら言いな



…なんで
優しくして
くれるのよ

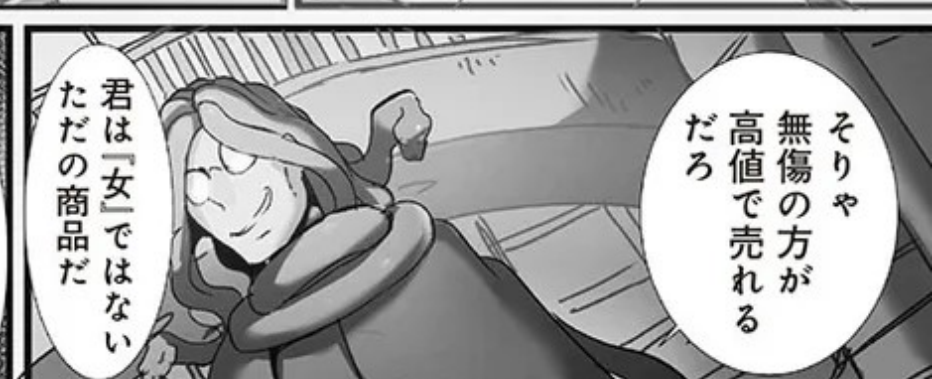
むしろ
怖い



入れ俺が価値を
引き出してやる

こいつヤバイ…
絶対屈しちゃだめだ

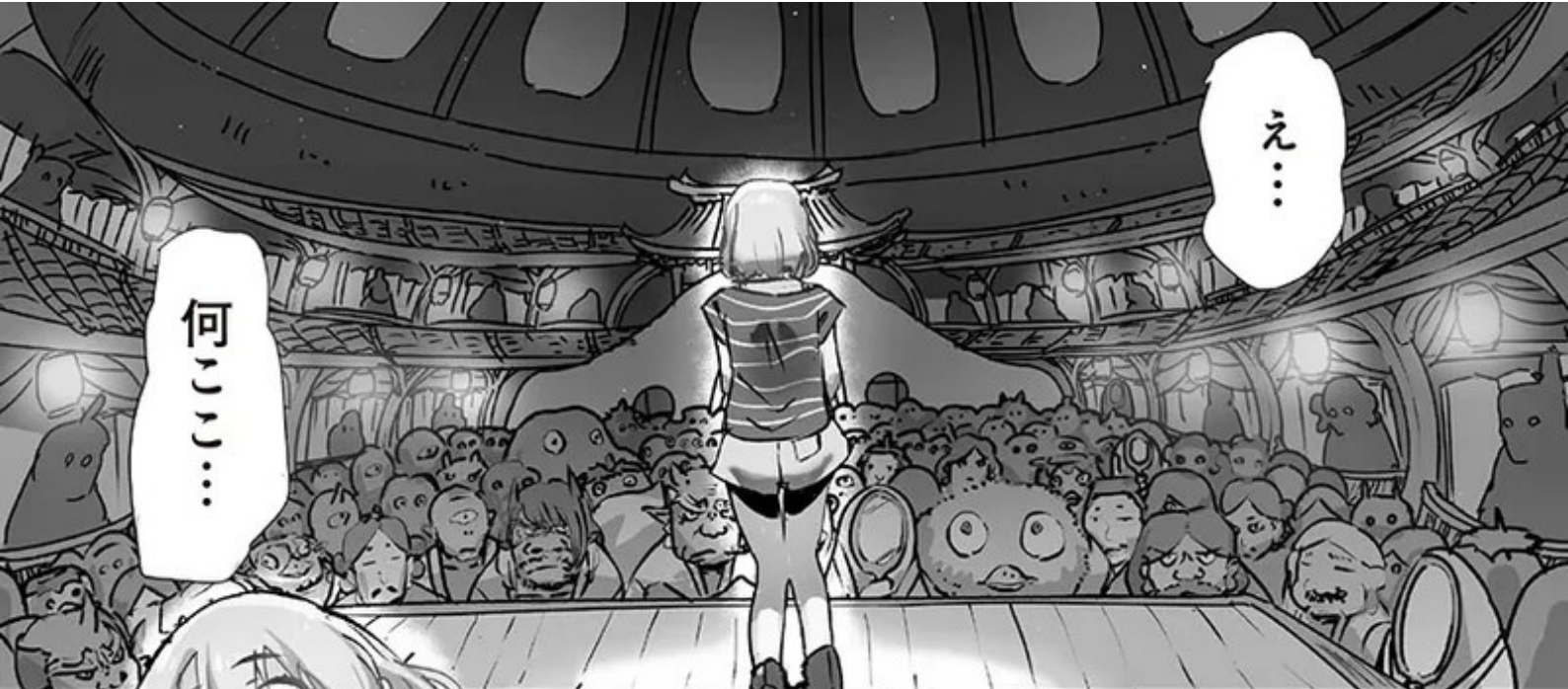
…大丈夫
隙を見てまた
逃げればー



そりゃ
無傷の方が
高値で売れる
だろ



この中でお前の
買い手を見つける



え…

何…



っ!?



こんなの…

どうやって
逃げれば…



全身に
視線が刺さる

怖いー

逃げたい…っ



さてー

人買い…!?
何を…っ

今宵の意和戸
開演です

競りの品は
この娘

お集りの
皆様—

顔を隠すなよ
皆様困って
おられるだろう

ほお…
柔らかく豊満

こいつ…っ!

へえ珍しい肌着だ
中津国の流行りか

ひぐっ…

乳首に触れただけで
吐息が漏れるとは…
さぞ淫乱に育つでしょう

では
お待ちかね
—…と

絶対思い通りに
させない
んだからーっ

鬱陶しい
手だ…

へ蛇が…っ！

どうだ大勢の視線に
自分の裸をさらすのは

放して…っ

い嫌っ

今にも弾けそうな
鼓動が伝わってくるぞ

そんなに邪魔
したいならば
すればいい

んっ

雁字搦めの状態で
できればの話だがな



蛇の舌は
すごいだろう？

この舌でさらに
敏感な所を齧ると
どうなるのか…

降ろさないで

だめっ

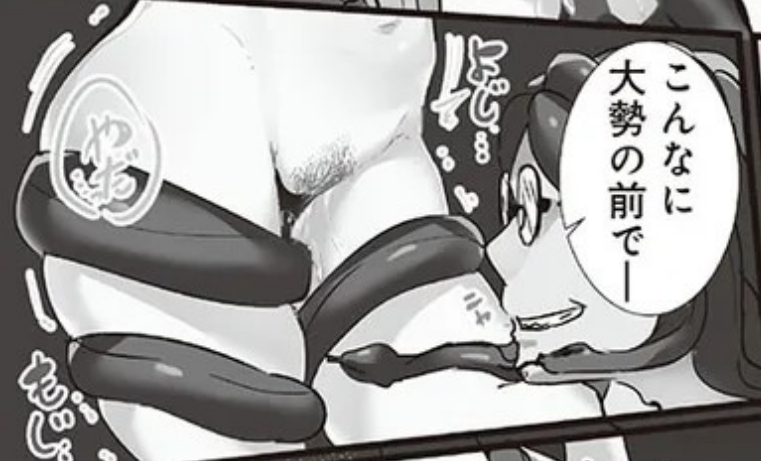
んん…っ!!



ふうう…っ

身を振る事も
ままならないだろう？

俺の為す
がまだ



こんなに
大勢の前で—



獣のように
乱れてしまう
姿かな…？



ほお…股から糸が
引いてしまっているねえ

一体どんな
想像をしたんだい？





ぐうう...っ！

あ...っ

はぁあ...っ

じゃあ
こういうのは
どうかな？

んっ！

だめっ

あぁっ

これだめえ...っ!?
舌が奥でうねって—

だめだめえ...っ



ふむ
処女だったか

はあ…っ

ようやく
終わった…

はあ…っ

さあ
ここからが本番だ

…えっ？

ふうう…っ

あっ

ひっ

おや？

さっきとは
打って変わって
余裕はなさそう
だあ

もういやあ…っ

あああっ

さっきの
威勢はどうした

だめえ……！
今触ったら……

ん触ったら
どうなるんだ？

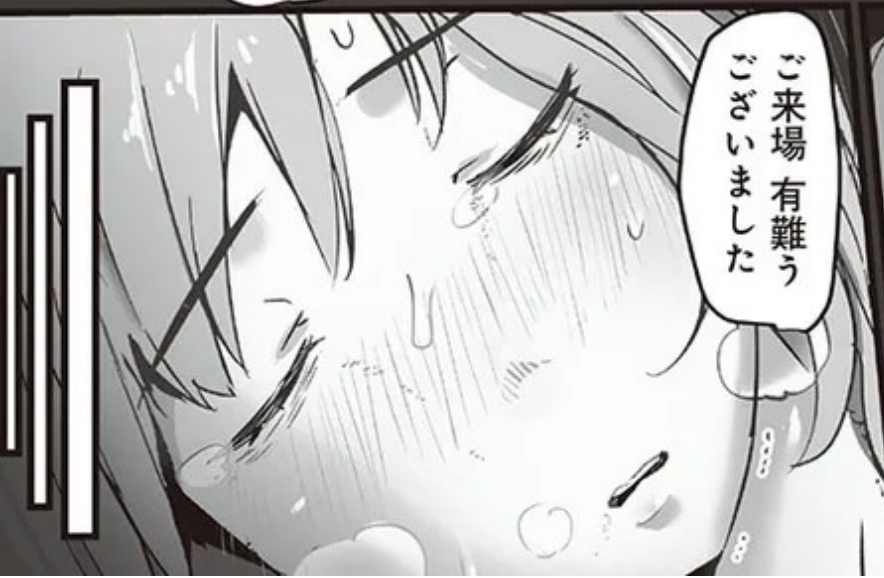
ああっ

あっ

あっ

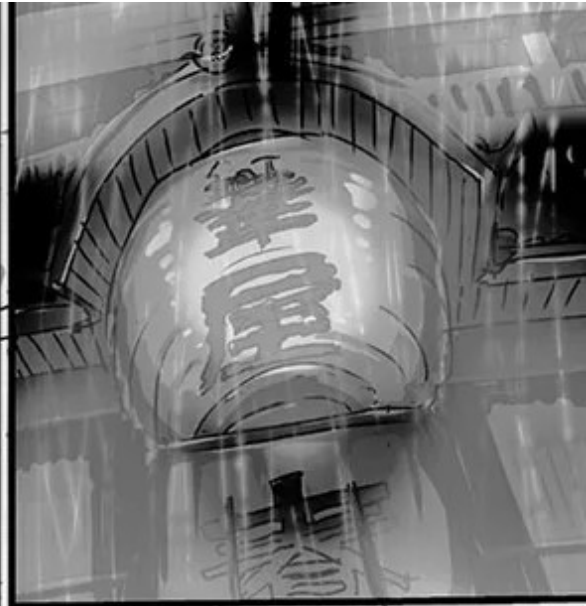








失礼します
猪神様……



……お来たか
待ちわびたぞ



今宵
華を務めます
百合でございます

どうぞ優しく
摘んでくださいませ



さあ
もっと近くへ...

今日は朝まで
可愛がつてやろう...

おいで

.....はい

異界で処女を
競り落とされて

やおよろずなぶり

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

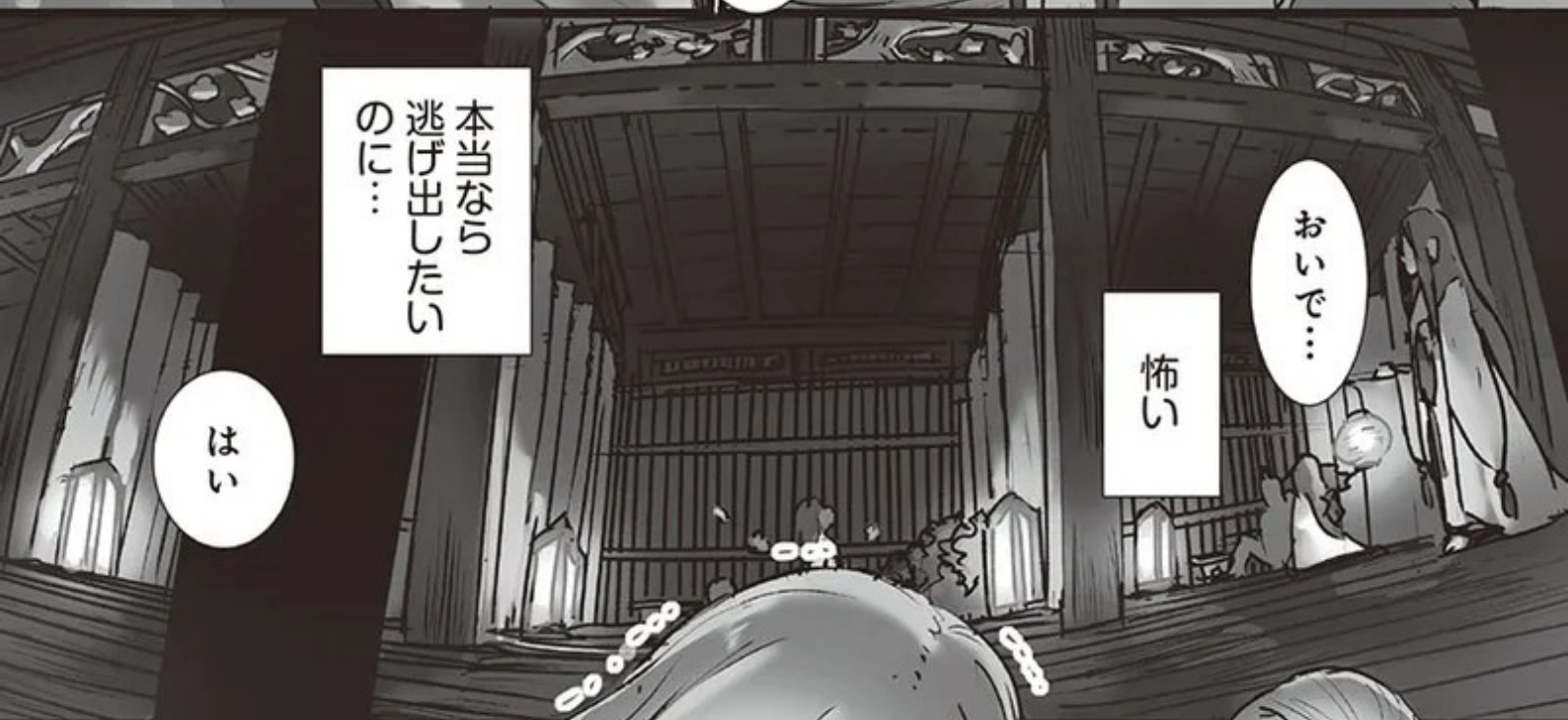
やおよろずなぶり

異界で処女を
競り落とされて



今日は朝まで
可愛がってやろう…

さあ
もっと近くへ…



おいで…

怖い

本当なら
逃げ出したい
のに…

はい

今から
この神様に—！

第2話

私…







主様
巴です

連れて
参りました

ご苦労
下がれ

そちが
友里恵か？

そうだけど

私働く気
なんてないから

それは無理な
話じゃの

そちには
すでに多額の
投資をしておる

出ていくなら
頭金を返済して
からじゃ

そんな
こと……っ

なに仕事は
用意してある

今日から名を百合と改め
八百万の神々を
「神招き」として労れ

神招き？

己が身を売るだけの
簡単な仕事じゃ
三百余年も働けば
完済できるじやろ

死ぬまで働け
ってのーっ!!

絶対
イヤっ!!



グダグダと
ぬかしおって



ちよ…
嫌っ



調子に乗るなっ
金で買われた
お前には

拒否する権利
すらない



ならば
そのまま放り出そうかつ

高天原で浮浪者として
飢餓と絶望に苦しみながら
永遠に生き続ける——っ!!



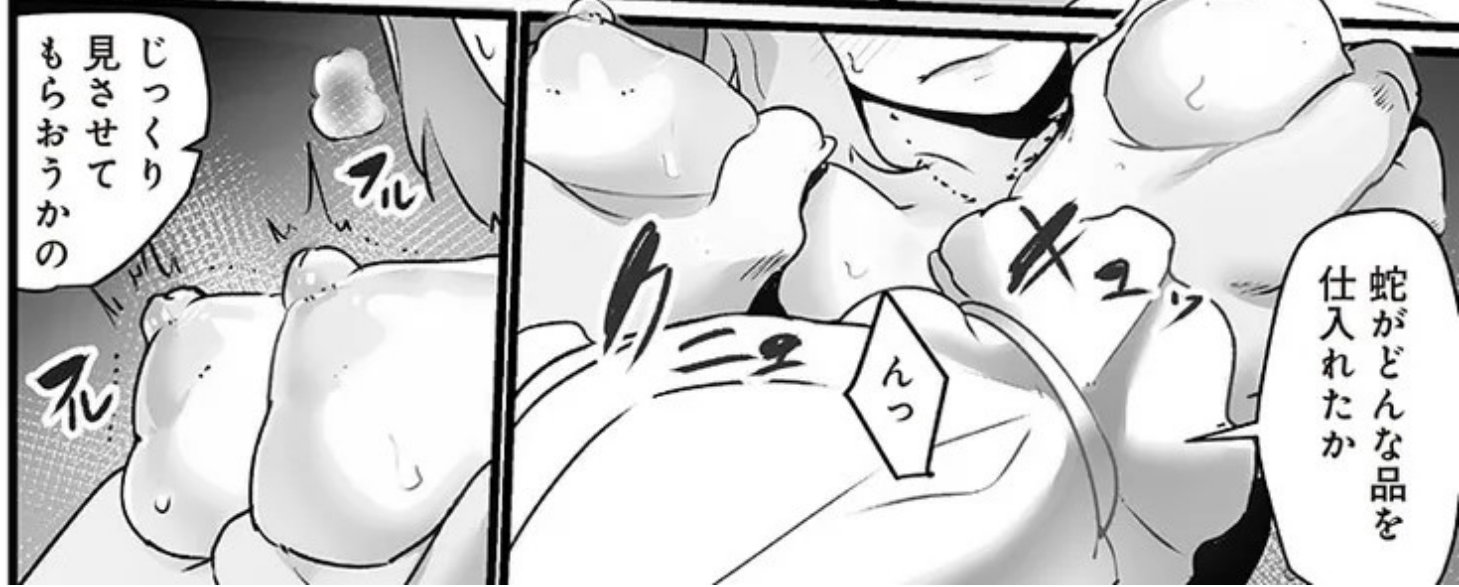
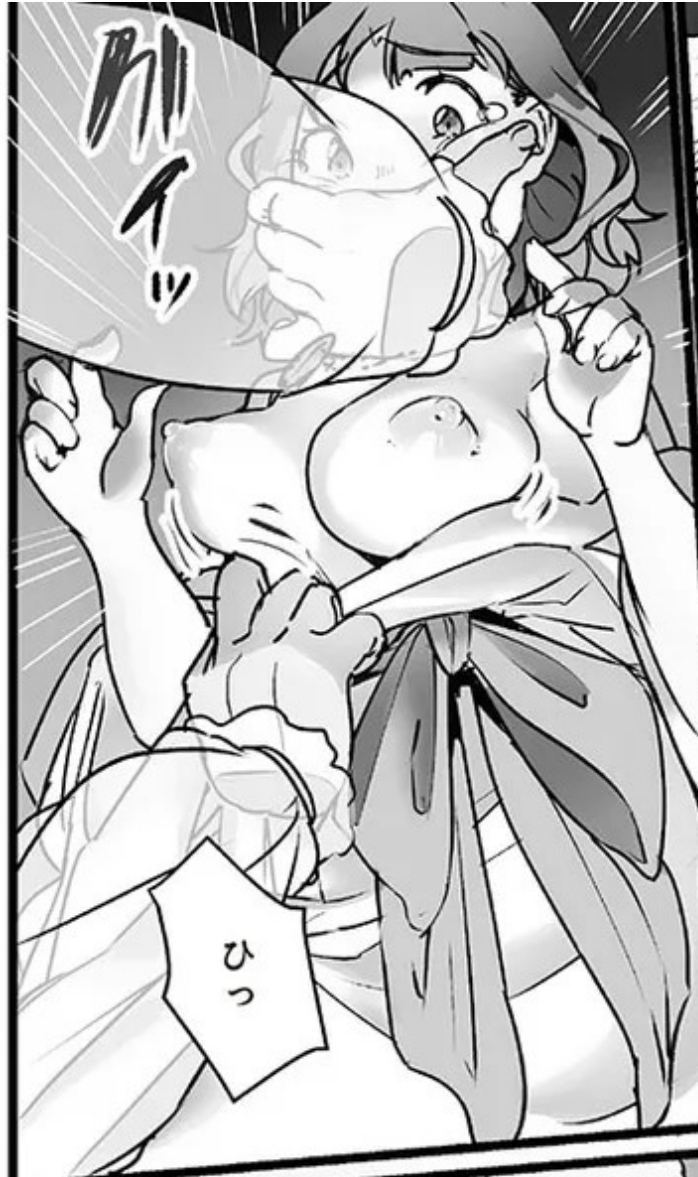
契約の
締結印じゃ

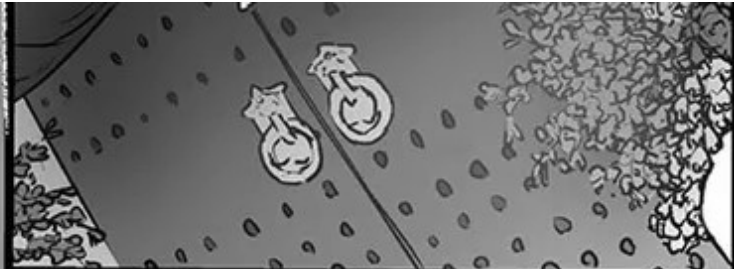
履行までの間
高天原から
出る事は出来ない



そんなの
無効に

決まって—





もう最初のころの
記憶がないの

…え？

気付いた時には
もうここで
働いてたんだ

源氏名の巴しか
解らなくなるくらい
働いたんだと思う

高天原では
年を取ることも
許されないから

毎日ひたすら
神様の相手をする
日々だけど

あの爺に
屈するのも
嫌だからさ

だから
元の世界に
戻れる様に

頑張るって
そう決めた

実は完済して
元の世界に戻った
娘も多いんだ

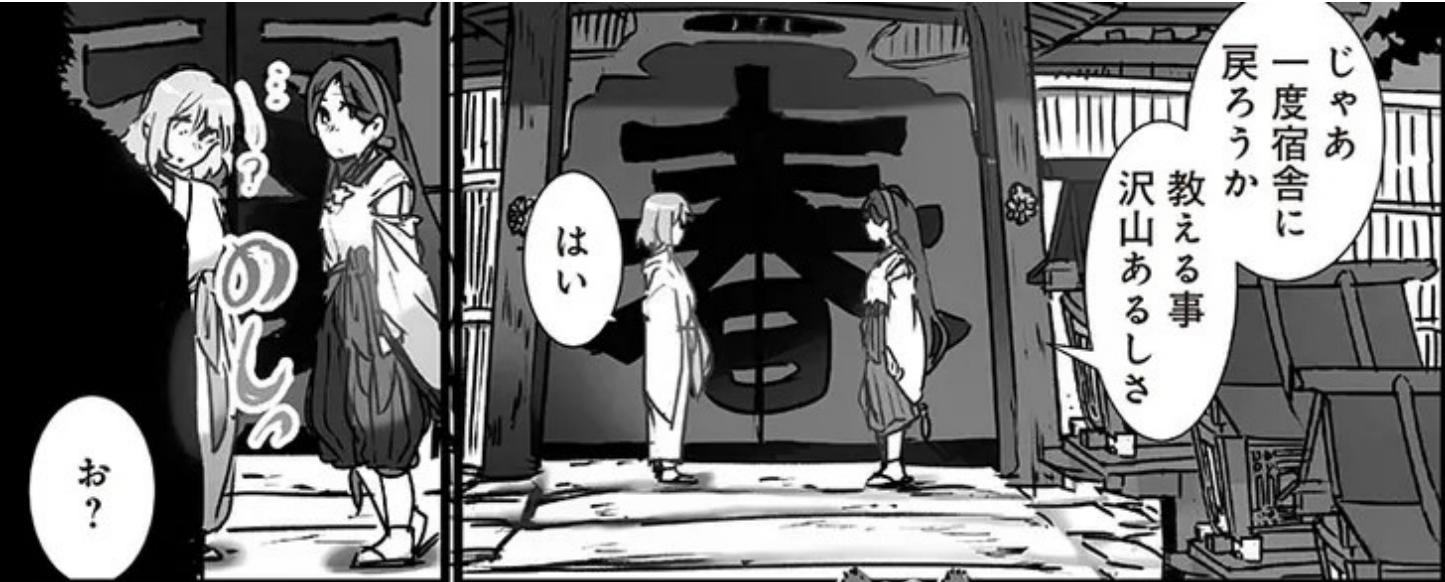
ほ本当に？

うん
時間は掛るけど
必ず戻る

まあ詳しい話は
知らないんだ
けどね

巴さん私
もしかしたら
頑張れるかも

…そっか



巴さん
これって

良い色でしょ？

黄緑色の…口紅？

そこれを
水筆で薄く
溶いて塗ると…

わ…すごい
あか
朱くなつた

最近流行ってる
小町紅なんだ

高いけど
今日は特別…

はい完成！
百合映えるね
可愛い！！

そそうですか

それに猪神様は
神招きを優しく
扱ってくれる方
だから

当たりを
引いて
良かったよ

そう…ですか

今夜は
この階の
廻し部屋ね

私は隣の
部屋だから
別れるけど

百合
大丈夫？

これ以上巴さんに
迷惑かけたくないし

怖いけど
頑張ろう…



ううっ

ヒト...



ふむ...

...えっ?

すまん

パッ



知らない人に
触られるとか
やっぱり無理...



それじゃあ
仕切り直したの

わっ



鳥肌が立っておる
気付いてやれず
すまんかったの

この面だから
娘達をいつも
怖がらせてしまう



それに昨日の意和戸
でもひどい扱い
だったしの

主の目には
化物のように
見えたかも
しれんのう



この人本当は
優しい人なんだ...
ちよっと安心したかも

あの
もう大丈夫
ですから







ゆっくりで
ええからの

初めてなのに
私今おちんちん
啜えちゃってる……っ

音も響くし……ちゅ
恥ずかしくて
死にそうっ

そのまま口で
しごいてくれ

こう……れふか？

ああ
気持ち
ええのお

すでに
ぬるぬる
だのお……

どれそろそろ
コレも味見して
みようか

ふう……んっ









やっ
もうだめ...っ
私っ

あっ

はっ

は...っ

はっ

はあ...っ

ぐうう...っ

いくぞ
百合...っ!!

あんっ

いっちやうから...っ!!

いく...っ!!



はあ
趣味の悪い

神招きの娘と
恋人ごっこかい

あいかわらず
だねえ猪神は

金払ってんのに
あんなに氣遣って
何が楽しいのかね

あの新人
今度は俺が
扱ってやろうかな

きっと楽しいぞ

なあ巴

はあ

はあ

はあ

はあ

異界で処女を
競り落とされて

やおよろずなぶり

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

やおよろずなぶり

異界で処女を
競り落とされて



でもなんで…?
こんなに広く
なくても

あはっ
本当だよね
私もそう思う

そういえば
まだ教わって
なかったっけ?

まだ時間あるし
一通りやってみようか

あ
うん

まあ紅華屋って
こういう商売だから

湯女も外せない
んだろうさ

やっぱり
銭湯で家計
ないんだ…

まああんたは
もうしばらく
先の話だと思
うけどね

あそれと…

じゃあそこ
座って?

あと上着は
脱いでね

さーさー
やってくよ

はいっ
はいっ

これお股に
当てていて

おちんちんの
代わりだから

えっ

あ…はいっ!

基本
手で洗って
あげるんだけど

最後におちんちん
洗ってあげるの

体の末端から
胸、股へ降りて…

わわわっ

全体洗って
あげて

もみ

皮剥いて
亀頭を
出したら

うう…っ

くちゅ

花み

うわ…

くわゅ

優しくシゴいて
洗ってあげて？

って百合！
あんたが
恥ずかしがって
どうすんのっ

べ別に恥ずかし
がってないけど！

ふーん
そうですか

こっからは
雰囲気もね

…おちんちん
とっても硬く
なってますね

それとも
期待されて
るんですか？

えっ

あの

気持ちいい
ですか？

わわっ
おっぱい
押し当てて
きたー…っ

お





ひどい目に
遭った

巴あんた
いじりすぎ

ごめんてば
可愛くてつい

おっさんか

そいえば
さ

どのって…
みんな違うの？

百合ちゃんって
どの時代から
来たの？

まあね私と菊は
江戸と明治で
二百年くらい
違うらしいし…

ええっ!?
すぐくない
それ？

そうかもね
慣れすぎて
実感ないけど

それに
元の時代にも
戻りづらいよね

百年に一度の
競りが云々
その話なら
ってやつ…?

調べてるの
椿ちゃんじゃ
なかった？

そういやさ
戻る方法の…

天孫降臨の儀
って詳しいの
小梅だっけ？

競り…?

なんかそんな話
だった様なー

もく…
ん？









自分で
そんな腰動かして
...どうした?



ほら俺の腕で
擦ってやるよ

...えっ

はあ
あっ
これゴツゴツして...っ



んああっ

あイク...っ!



あっ

なら終わり
イカせて
やらない

あやらあっ



はっ

そうか
イキそうか

イク...っ!

はあっ

いつちやうっ!!



なんで...

ん?

なら
壁に手を
付けろよ

あ……

ひうっ

んううっ

あああっ！

はあ

……ブツコミたく
なる尻だ

はっ

だめ……

身体に

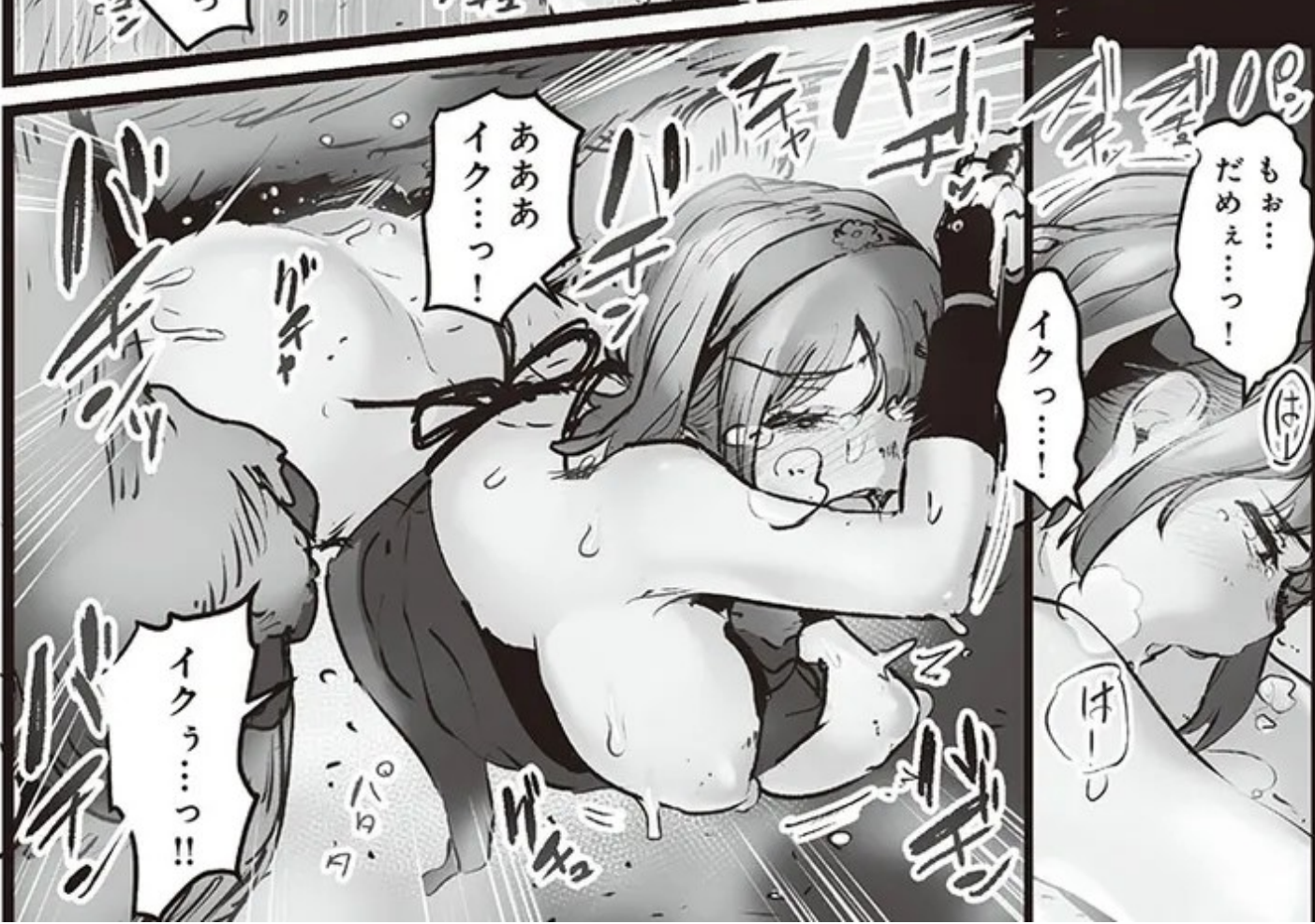
力が……

興奮
してる
だろ

びちゃ
びちゃ
だ

随分あっさり
挿入ったな









は...

全然
物足りん...

俺が
動くぞ？

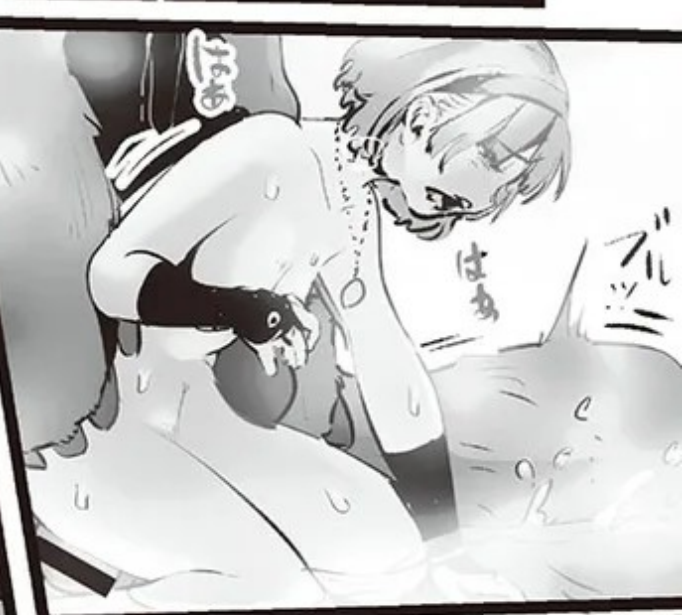
じろり...

ま
ま
って...

わ
私がやるから...









異界で処女を
競り落とされて

やおよろずなぶり

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

やおよろずなぶり

異界で処女を
競り落とされて

第4話

もー
ムリいー！
恐いー！

ほらほら
がんばれ
がんばれ

まさか
こんな崖の
上にある
なんて…っ！

今日は神招きの
「神饌」の日

はあ

二日間で
山と海の神様に
お参りに行く

はあ

もう少しで
頂上だから…っ

山頂の神社に
向かって歩き
始めたんだけど

きついなあ…

でも

この旅で元の
世界に戻る方法が
わかるかも
しれない…！

社の横の泉で
禊をした後は
お供え物を並べて

お祈り
捧げて終わり

簡単
でしょ？

…それまでが
過酷すぎない？







おら
どけよ

ブス共!



何あれ
いきなり
やば……



羽振りを利用して
好き勝手やってる
アイツか

さーて
今夜はどいつで
遊んでやるかな

狐神きつねがみって
あの狐花屋の
御曹司の……!!



いや

こりゃかえって
好都合かもな



あの娘……
この前意和戸で
猪に買われてた
やつか

つか神招きが
こんな時間に
なんでいんだ?



お





神招きは
紅華屋の親爺に
借金の頭金を
返すまで

高天原から
出ることが
できない

なんなの
いきなりっ

離しー

交渉成立

どうせ金で
困ってんだろ

じゃあ

…っ







それとも
このまま
漏らすのか？

こんな
恥ずかしい事
絶対嫌なのに……

でも……
もう我慢
出来ない……

どれ……

うわ……
本当にしてんだ
知らない男の前で？

ど変態
じゃん

ちが……
ちが……

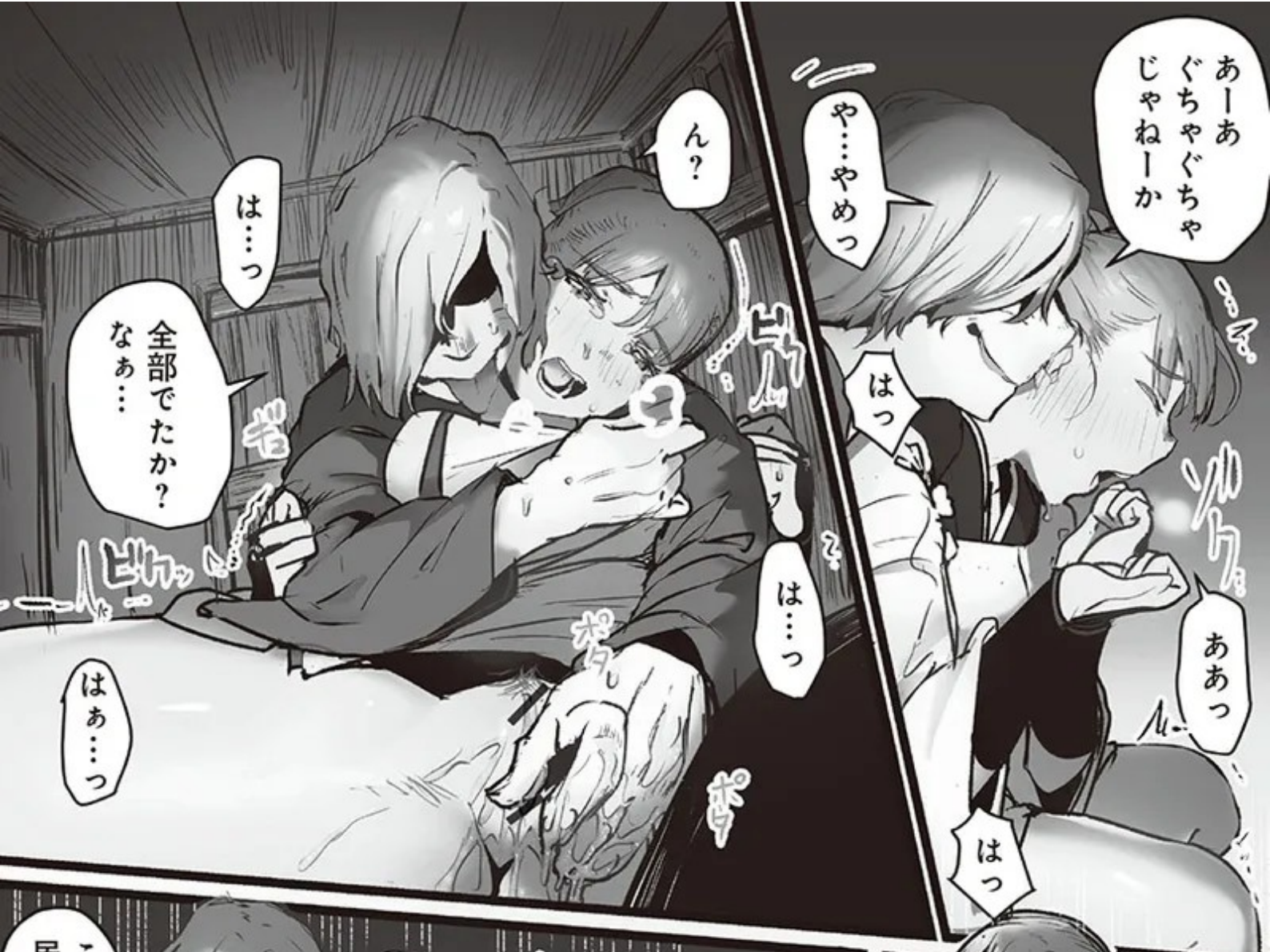
見られたく
ないのに……

あ……

はっ

ぜったい
……





あーあ
ぐちゃぐちゃ
じゃねーか

や...やめっ

ん?

は...っ

全部でたか?
なあ...

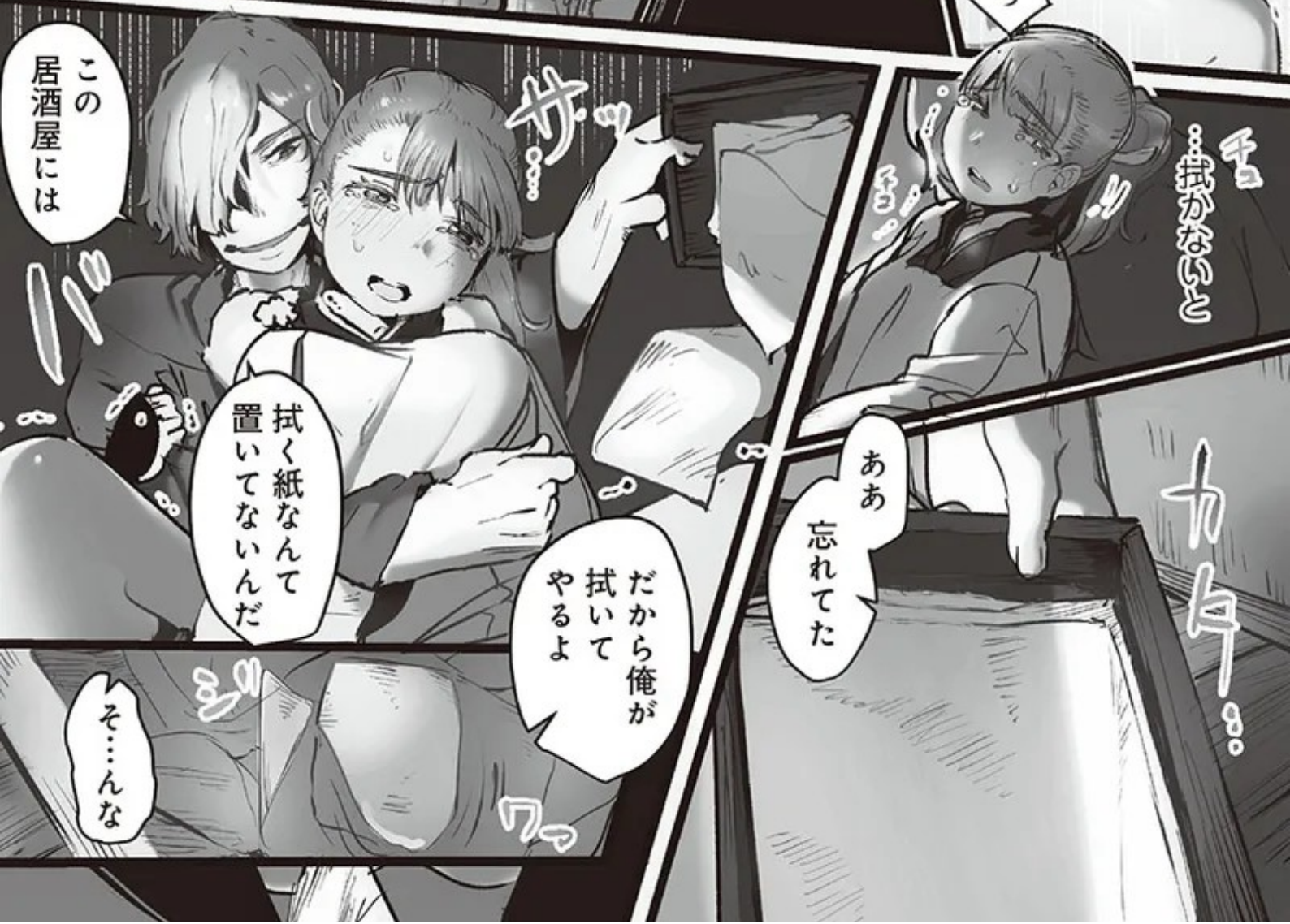
はあ...っ

はっ

は...っ

ああっ

はっ



この
居酒屋には

拭く紙なんて
置いてないんだ

だから俺が
拭いて
やるよ

ああ

忘れてた

拭かないと

カッ

そ...んな





あーが

んう...っ

あーが

あーが

百合!

大丈夫っ!?

ちっ...これから
だつてのに

また
来やがったか

ほら
行けよ

あっ



さっきは
盛り上がった
ところで邪魔が
入ったからな

いや……っ

悶々としながら
触ってたんだろ

違……
出て……

お友達が
寝てる横だよ

なあ
変態

声出したら
友達にばれる
かもな

快感に
悶えたんだ
よなあ……？

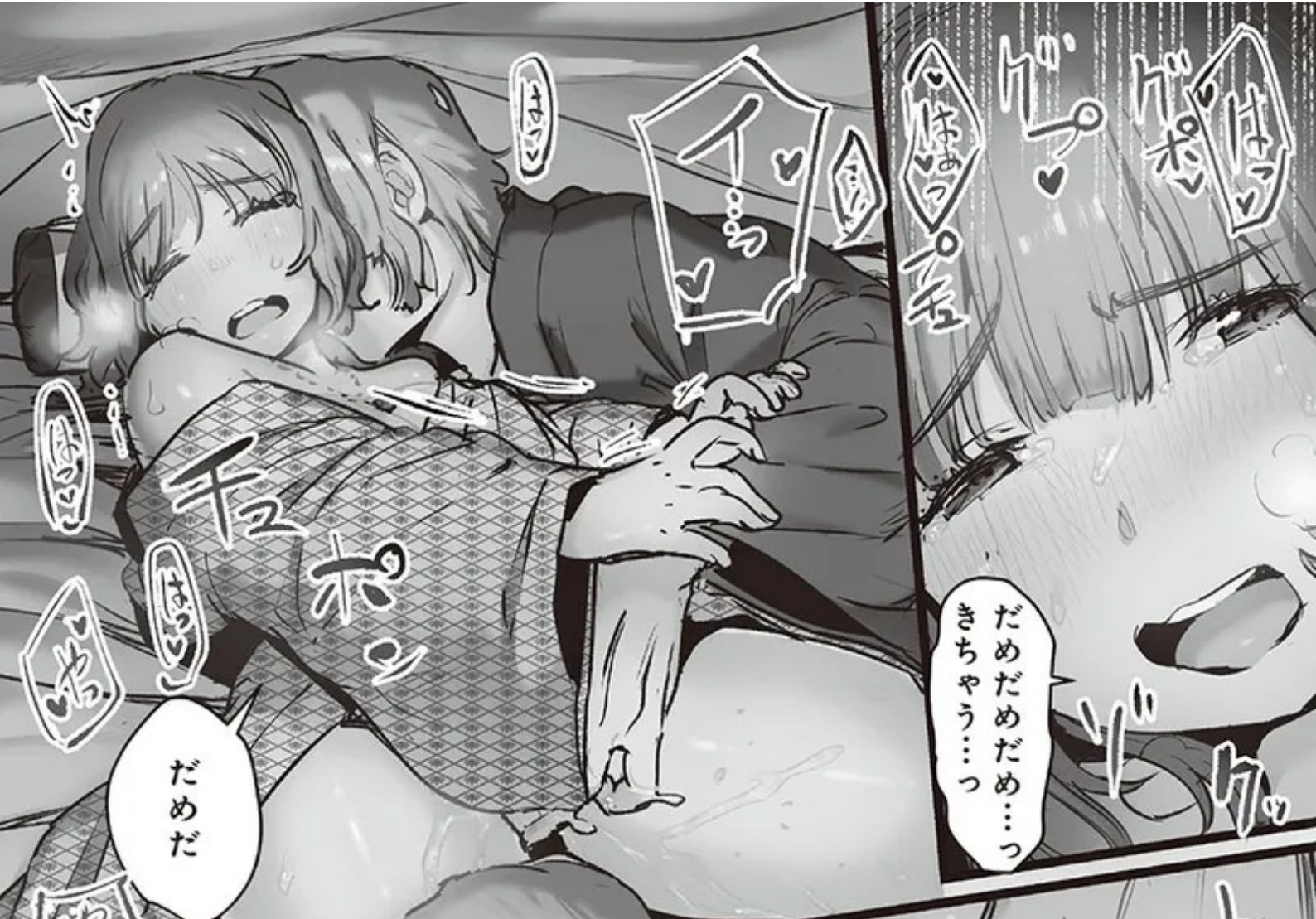
ホントは
かき回され
たいんだろ

そんな……こと
ない……から

こうやって
指挿入れ
られて

はあっ

はあっ





手どけろ
邪魔だ

邪魔だっ
つってんだろ

何恥ずかし
がってんだ？

やだ
やだあ……

ああー
なるほど
そういう事か

……
いやっ

こうやってよ……

お望み通り
イかせ続けてやる

俺みたいなチャライ男に
弄ばれて感じてるのが
後ろめたいんだろ？

ふーん お前
奥のここが弱いんだな

そんな…
事…っ

どうだかなあ

ほら
いけよ



暑ちい...

や...
だめっ...

ぐ...っ
そろそろ
っ!

……!!
だ
射精すぞ……っ

ほら
舐めろ

きれいにしたら
また挿入れて
やるよ

どうだ百合…

またすぐ
イかせてやる

俺との交尾は

ぶっ飛ん
じまうだろ？

なにせまだ
夜は長い…

異界で処女を
競り落とされて

やおよろずなぶり

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

やおよろずなぶり

異界で処女を
競り落とされて



探せ！



巫女様が
逃げたって

ああ
まだ遠くには
行っていないと
思うが…



本当か…？

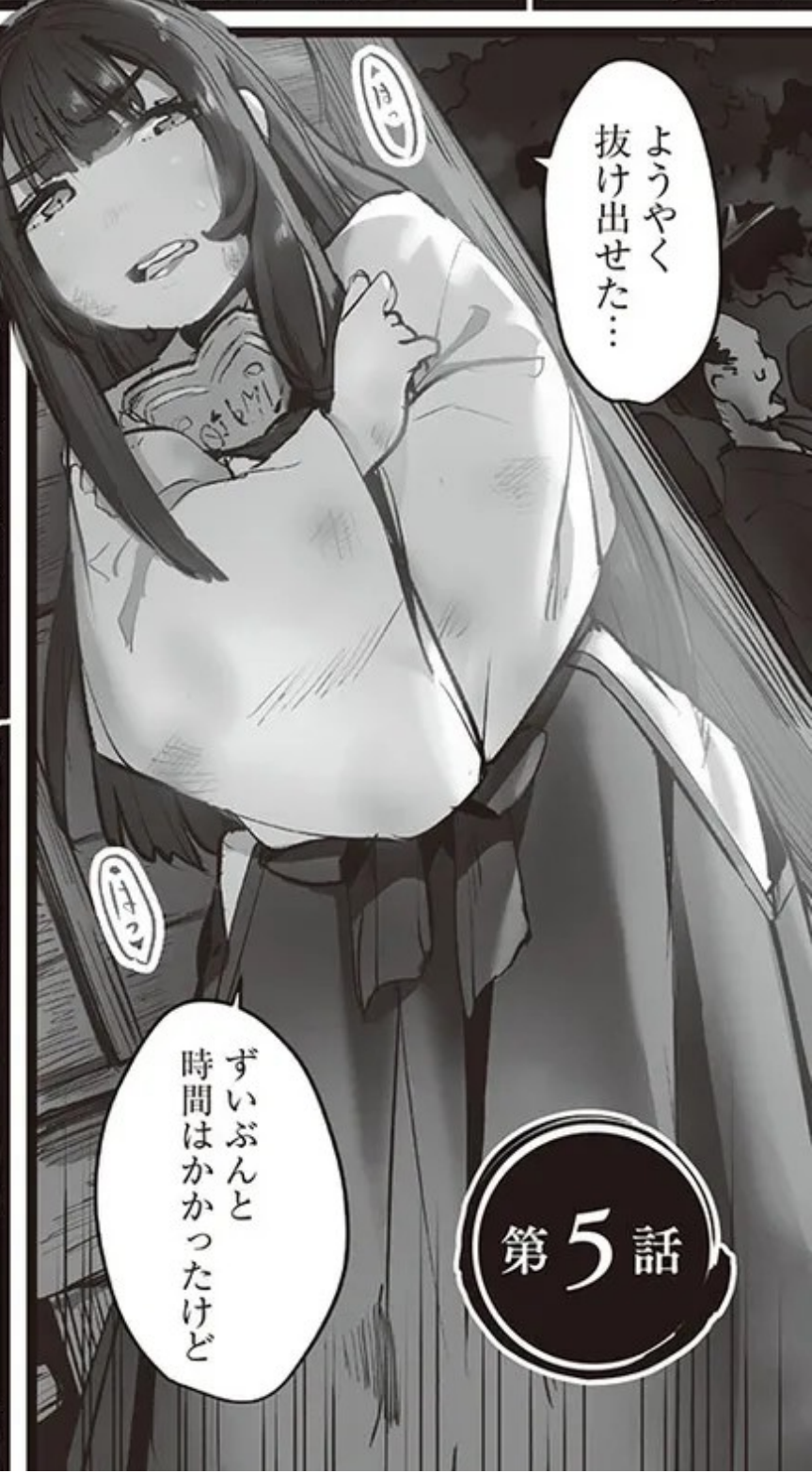


これで

救ってあげられる



待ってて
巴…っ！



ようやく
抜け出せた…

ずいぶんと
時間はかったけど

第5話



知ってのとおり
元の世界へ戻るには

天孫降臨の儀を
行うんじやがの

その為に使う道具が
三つ必要じや

いわゆる
三種の神器と
いうやつじやの

この娘
初代神招きって
聞いてたけど…
ずいぶん幼くない…？

八咫鏡は長く、
行方不明で、
代替物を用いる、
高天原の
古い地層から
出土して
出回っている

どれも
聞いたことが
あると思うが

じゃが
やっかいなのが
勾玉じや

唯一無二で
太古の昔に
砕けてしまった

えっそれじやあ
帰れないって
こと…？

だから
集めるんじやよ

島にちらばった
勾玉の五つの
かけらをな

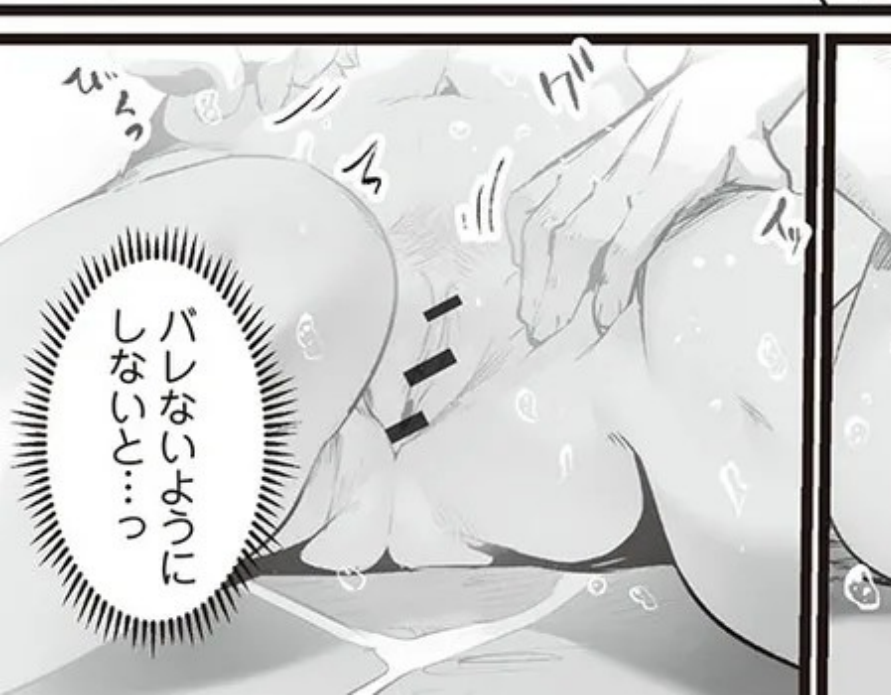
財のある神々が
力の象徴として
かけらを持つておる

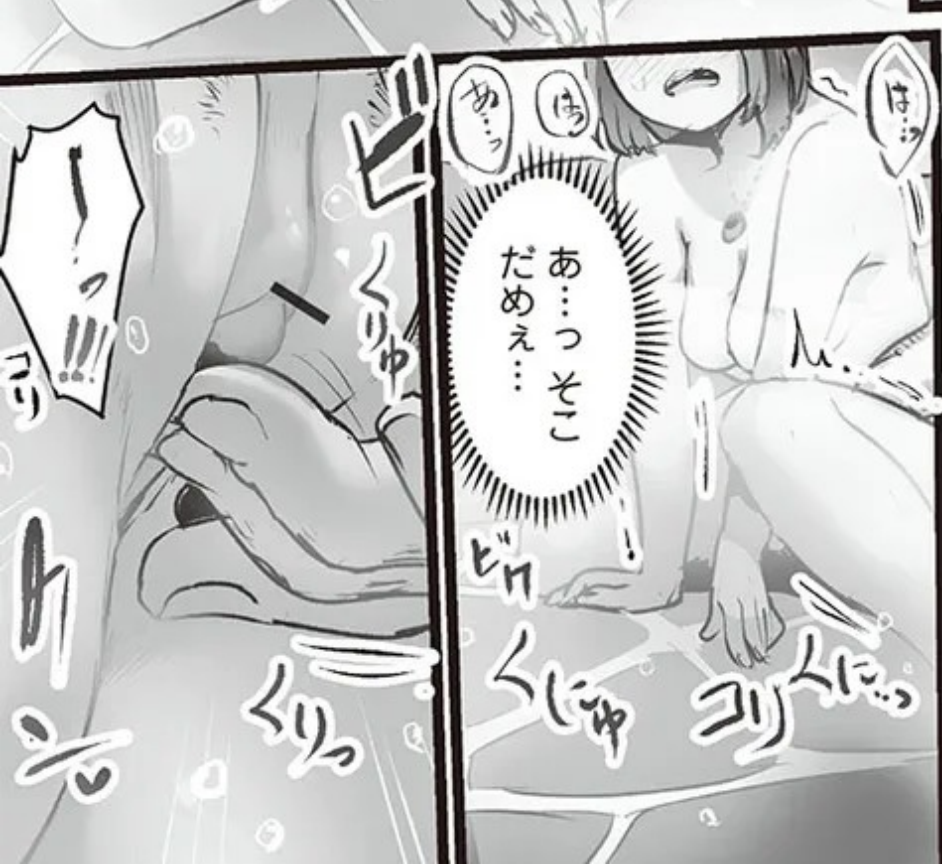
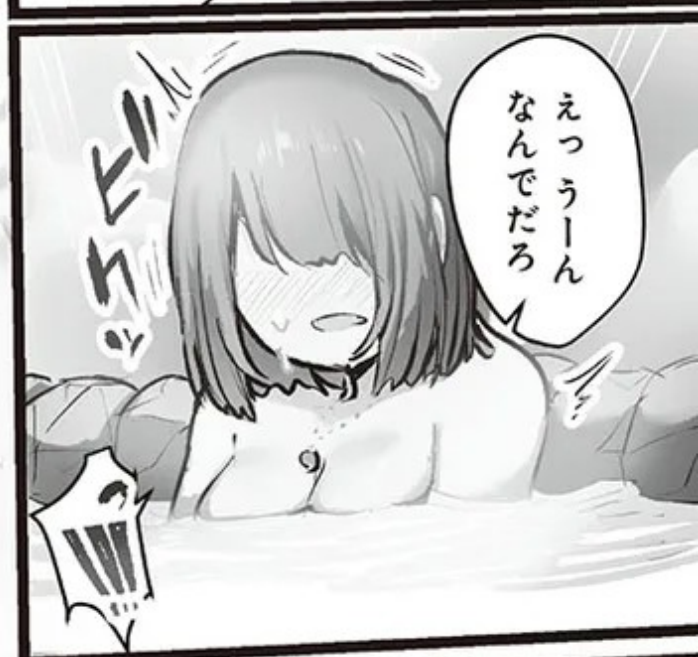
な…なるほど
わかりました

うむ
励めよ











さてと

私そろそろ
髪洗って
くるけど
百合は？

まだしばらく
入ってるってよ

大丈夫？
のぼせない
ようにね

んく……っ

は……あっ

いや……っ

バレる
から……っ

むっ

んう……っ

んん……っ

俺を満足させなきゃ
教えてやらないぞ？

こいつの
言つとおりにするのは
ムカつくけど

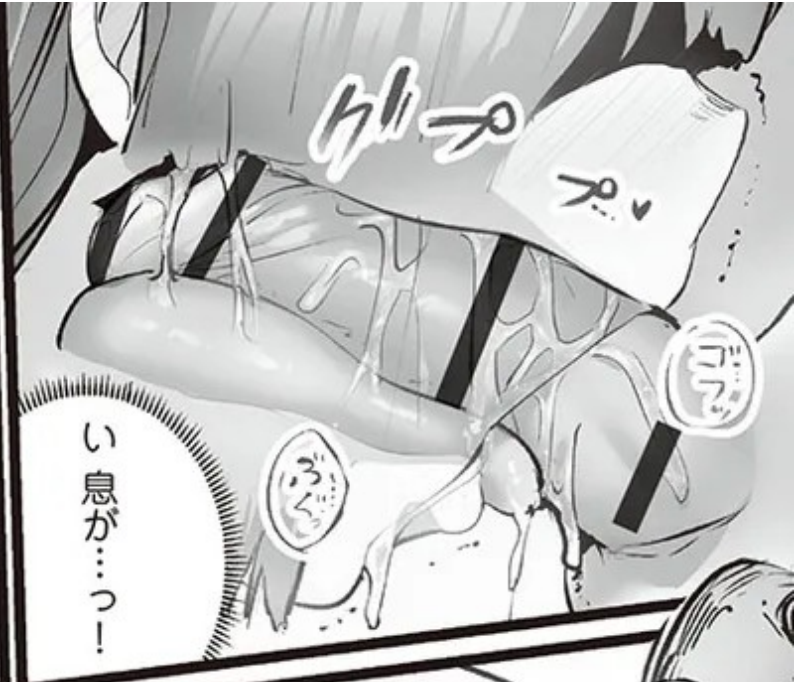
勾玉のこと
知ってるなら
耐えないと

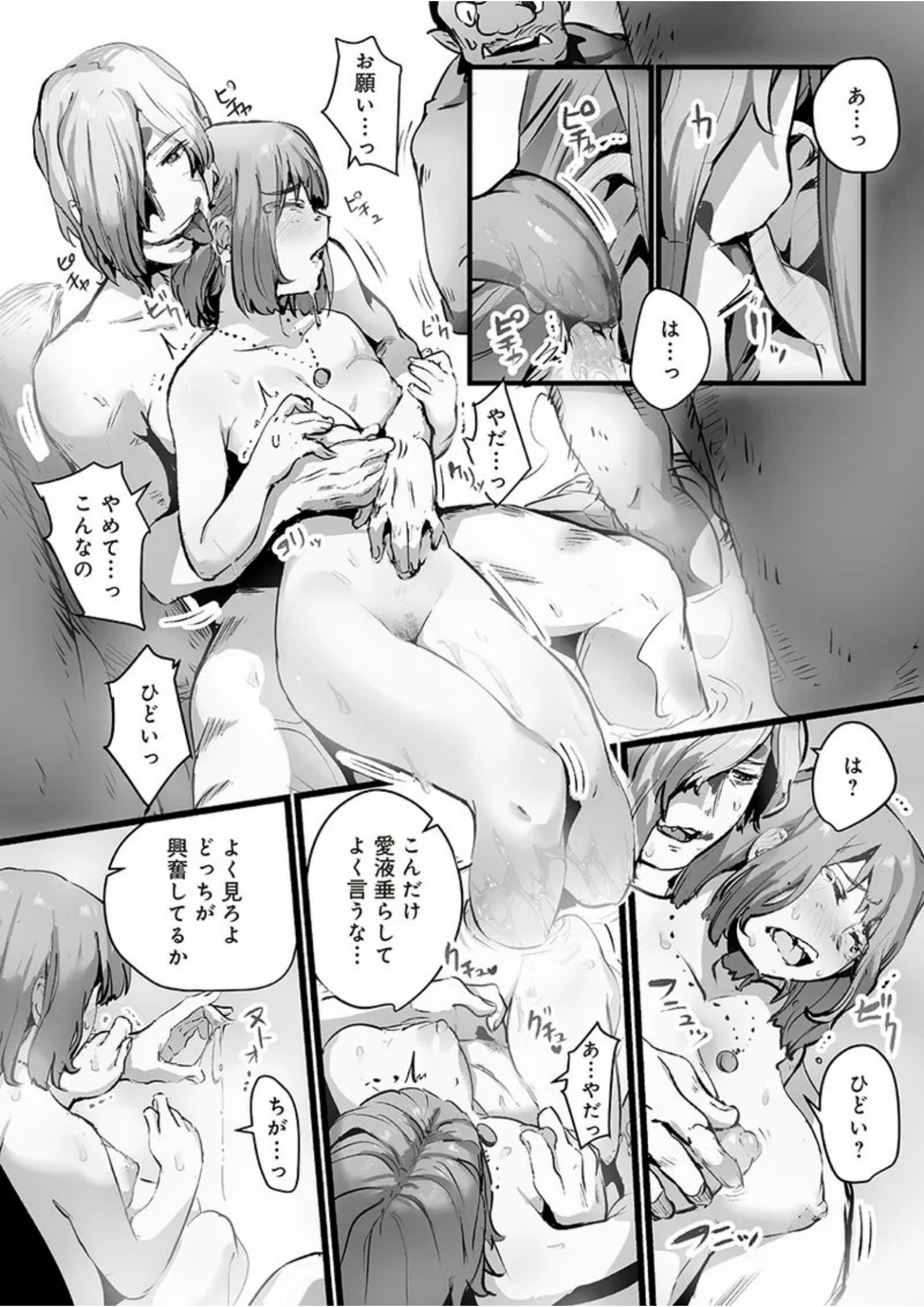
いいから
早く啜えろよ

あんた
本当ありえ…

っ!?

イヤだけど
ガマンして——っ





お願い…っ

あ…っ

は…っ

やだ…っ

やめて…っ
こんなの

ひどいっ

こんだけ
愛液垂らして
よく言うな…

よく見ろよ
どっちが
興奮してるか

ちが…っ

は？

ひどい…

あ…やだっ



違う
ねーだろっ

今喘いでいる
のは？

友達の後ろで
いたぶられて

卑猥な音を
立てている
のは…

お前だよ
百合

お前の為に
やってるんだ

大勢に
見られると

気持ち
良いだろ

本当はこうして
ほしいんだよ

百合 お前は
本音を隠してる

はっ
そんな…っ
うそ…っ

んあっ



…んっ

あれ私
なんで
部屋に…？

そっか
お風呂で
あいつに…

暑い…っ

巴ちゃんが
運んでくれた
のかな…？

ありがと
巴ちゃー

—え

ようやく
起きたのか

巴ちゃん
…なんで？

お前



…っ!!

まあ
いいや

精液
好きだろ

おら
トモちゃん…
顔にかけてやるよ…!

ちゃんと飲めよ

はい…
お狐様…

さてと—

コホッ

コホッ

ジュル

ジュル

ジュル



待って百合には
手を出さないって
約束でしょ

その娘
ずっと
疲れてて



それは――



恨むなら
俺じゃなく
力足らずな
先輩を恨みな



え…っ

じゃあ次は
百合を
味わおうか



だめ…
まだ身体に力が…っ

俺を
満足させたらの話
だったな



やっ

昨日みたいに
されたく
ない……

っ!!!

やだっ
や!

グチヨグチヨじゃん
お前

ち
ちがうのっ

あーあ
やられ損じゃん
トモちゃんかわいそ

こんな奴
ほっとけば
いいのになあ

トモちゃんの見て
興奮したか



巴ちゃんの
優しさに甘えて



こいつに
流されるだけ
流されて



尻突き出せよ



そ…
そんな…

私…っ

私…本当最低だ

あゝ

はっ

はっ

あゝ

あゝ

はっ





私たちは
朝方まで
何度も翻られ

結局狐神の
思いどおりに
なった…

ドロドロになった
私たちを見下して
出て行った

やっぱり非番の時の
神招きが一番
興奮するわ

またな



お...
終わった...

は...

百合...
大丈夫?

お狐様が
手紙置いて
ったよ

...なんだろう?

手紙...?

巴ちゃん

ごめんね私...
本当に巻き込む
つもりなくて

大丈夫
私が勝手に
やったこと
だから

バカだなあ
百合は

異界で処女を

競り落とされて

やおよろずなぶり

YAOYOROZU
NABURI

八百萬

YAOYOROZU
NABURI

八百萬男

やおよろずなぶり

異界で処女を
競り落とされて

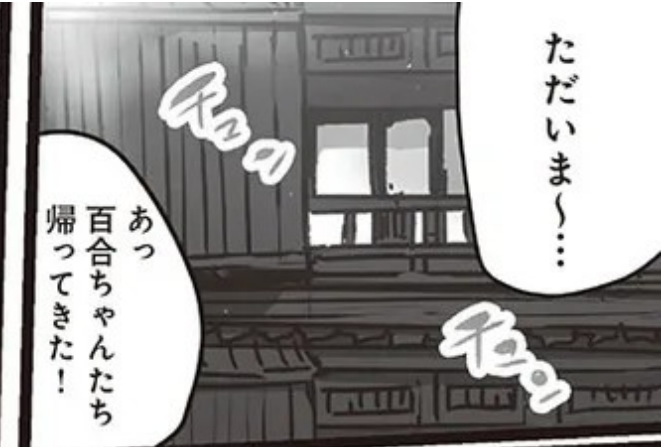


あれ
今日って
半ドンだったんだ

うん

みんなで
かけ花札
してたんだ

あれ
百合ちゃんは？

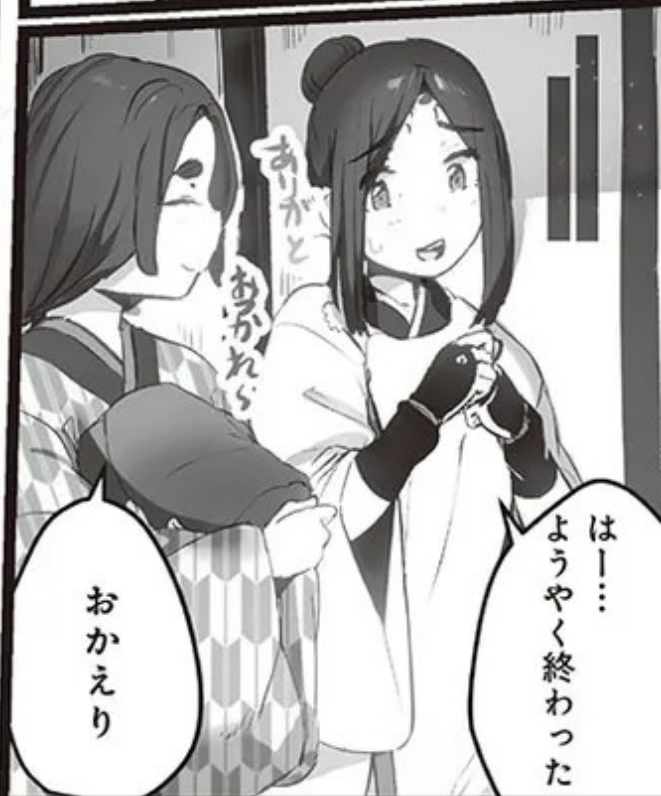


ただいま…

あっ
百合ちゃんたち
帰ってきた！



つかれた
よおー



はー…
ようやく終わった

おかえり



わっ
ごめーん…

もー
さんざんだ…

ただいま

第6話



はわっ

足が
もつれて…っ！

わっ
ちよっと









高天原の男って
すぐ手出してくる
から…



おや…

変なこと
しないように
注意しないと…っ



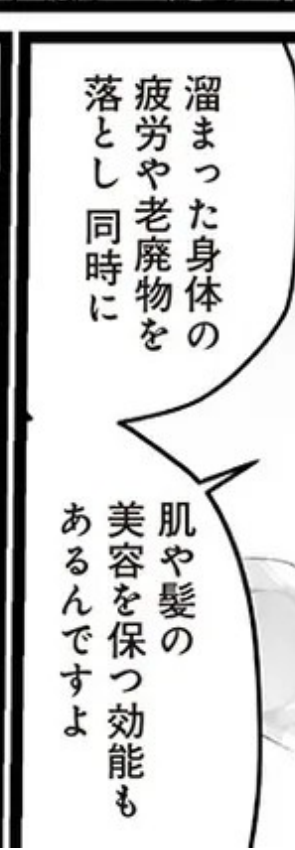
そんなに
警戒しなくても
大丈夫ですよ

うちはお客様
第一で考えてますから
どうぞご安心ください



へえ…

あったかい…
それにすごく
良い香り…



溜まった身体の
疲労や老廃物を
落とし同時に

肌や髪
の美容を保つ
効果もある
んですよ



こういうトコ
初めてだけど

それでは施術の方
始めていきますね

…お願いします

完全に
二人きりの
状況だね…



…椿油?

うちは按摩に
椿油を使います

あたた…

痛くないです？

ちゃんとマッサージ
してくれるし
上手いなあ
少し安心した…

ずいぶん
こつてますね

はい…

お仕事で
結構歩き
回ったんで

じゃあしつかり
揉んどきますね

…おねがい
します

見かけでうたがってかかって
悪いことしちゃったかも…

あ…

気が抜けたら
一気に眠気が…

寝るのは
さすがに…

でも…まあ
大丈夫…か

お客様？

…それじゃあ
お客様

ひゃい

次は背中にも
揉みこんで
いきます

肌着を脱いで
ください

え…っ

腹掛けだと
お尻見えちゃう
ので

こちらを
腰巻きとして
お使いください

あ…
はい

席を外しますので
着替えたら
お呼びくださいね

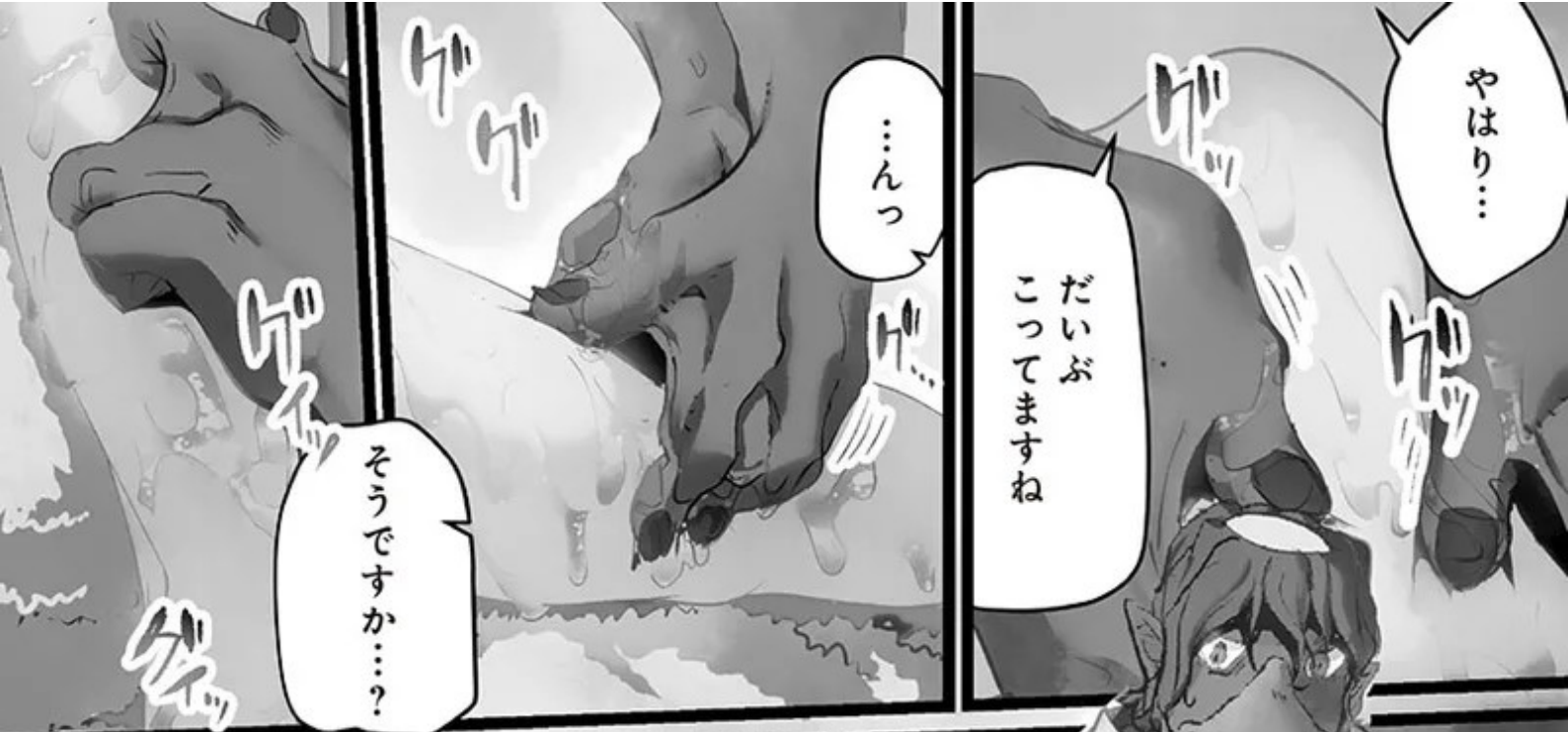
ほ…

あの…
着替えました

…ありがとう
ございます

大丈夫
だよ…

では
続きを…







それじゃあ
失礼します

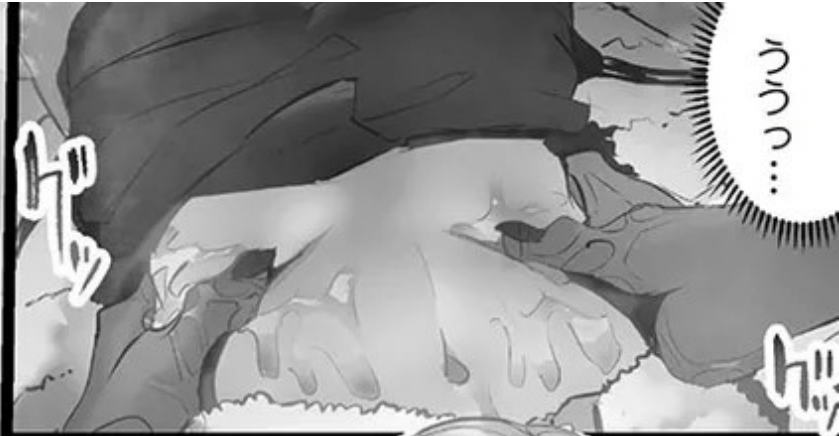


わっ
ちよっと…っ

ああ
大丈夫です



この仕事で
見慣れて
ますから



マッサージって
こんななの…？

知らない人に
足とかお腹
触られて…

気持ちいいけど
くすぐったくて
変な気分…





いるん
ですよね…



勝手に
ヨガっちゃう
お客さん

ウチは
そういうお店じゃ
ないんですけどねえ



んっ

んっ
んっ



んっ



スルル



あう…

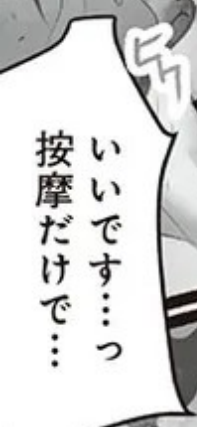
!!?



おさまり
つかないん
でしよ?!

仕方ない
接待してあげますよ

いや!



いいです…っ
按摩だけで…



んっ
んっ

おや…

もう
ずいぶんと

濡れてらしたん
ですね

そんなこと
ないです…っ

…違うん
ですか？

おやおや
私の指すんなり
咥えこんじやい
ましたね

だめ…だめっ

あ…っやっ

ホラ…こんな
びちやびちやだ

百合様は
とても敏感な
神招きなのです…

ちが…っ

抜こうとしてるん
ですけど
百合様が放さないん
じゃないですか

百合様の
大事なトコ全部
見えてますよ

ハッ♡

あ♡

ハッ♡

はっ♡

ハッ♡

イクときは
ちゃんと行って
くださいね

だめです
まだ
おあずけです

見ないでっ

ハッ♡

ビク...

ハッ♡

いいですよ
イキなさい

おやおや
もうですか

もうだめ
いく...

いっちゃん
ますっ

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡



え…
あの…っ

なにお布施
みたいな
ものですよ

百合様…
私のモノも
お願いします



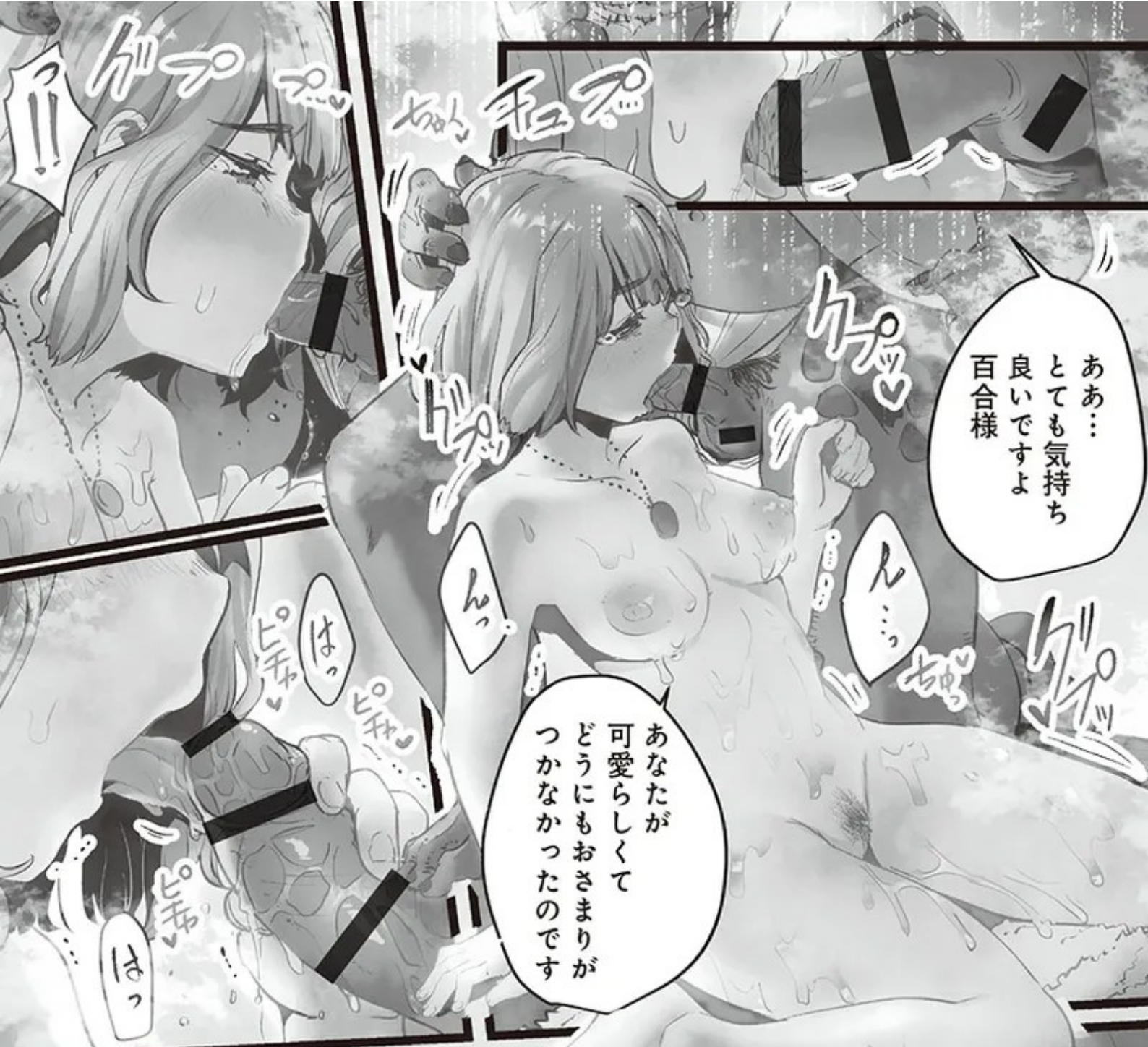
いっぱい
吹かれました
ねえ

そんなに
よろしかった
ですか



さあ
早く…

皆さん
してくれますよ



ああ…
とても気持ち
良いですよ
百合様

あなたが
可愛らしくて
どうにもおさまりが
つかなかったのです



こんなことに
なってしまったのは
あなたのせい
ですよ…っ

私の…
せい…？



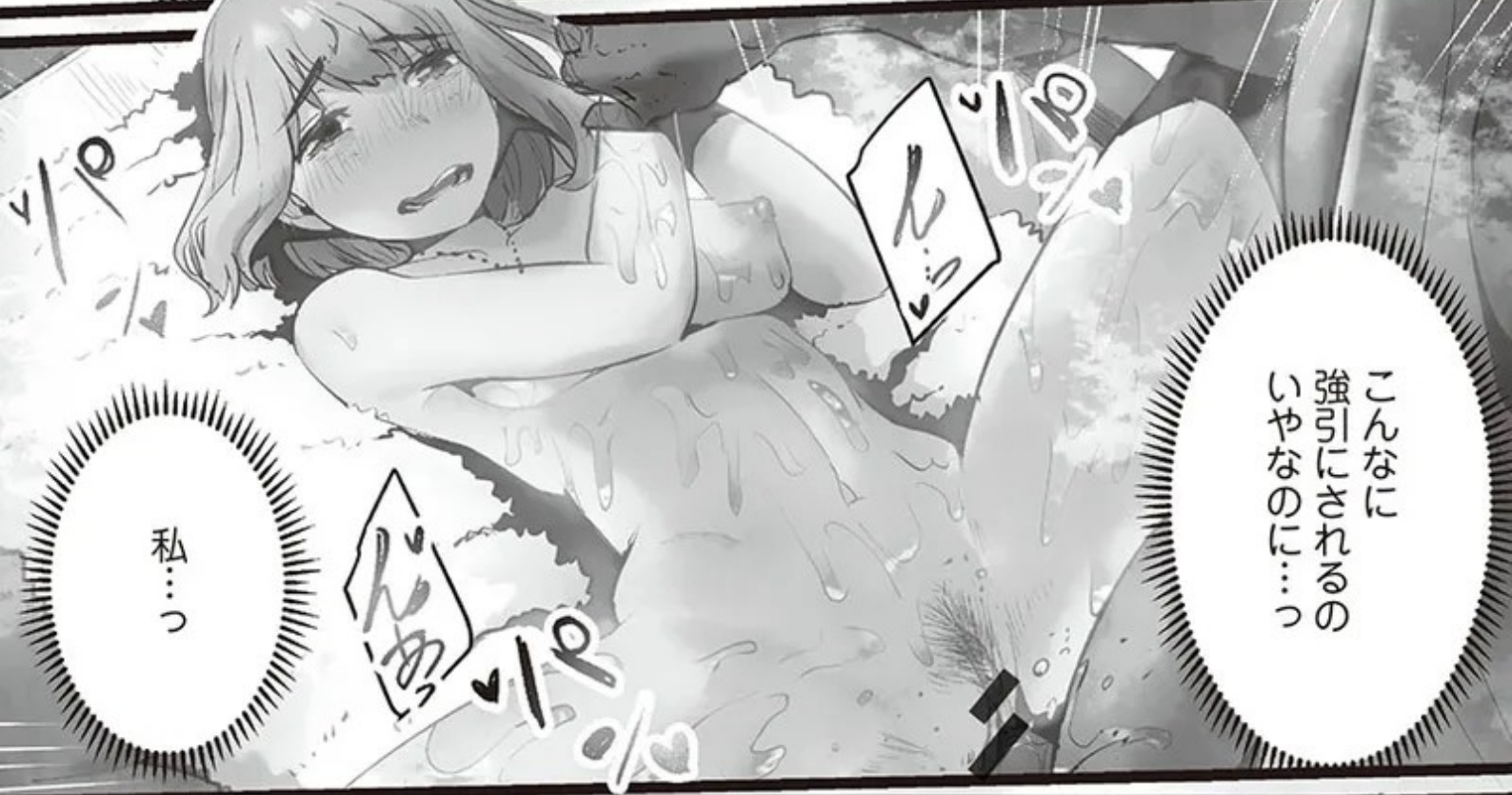
ああ…
良いですよ
百合様…っ



私も…

そろそろ
ガマンの
限界です

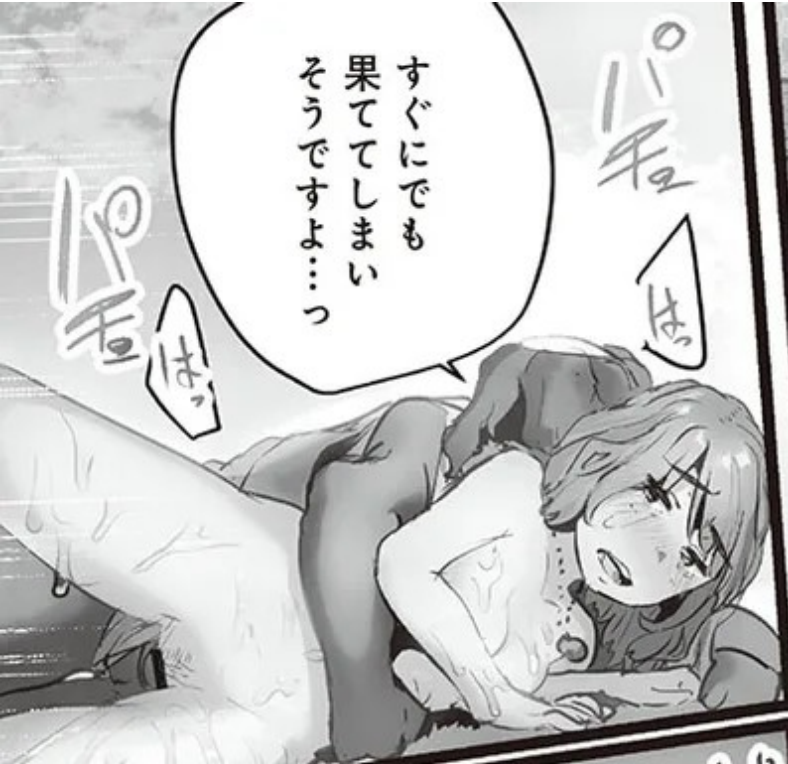




これは良い穴を
お持ちだ…



すぐにでも
果ててしまい
そうですよ…っ



そろそろ
射精し
ますよ…っ

えっ



なか
腔内に
だ
射精してな…っ

百合様を
イカせてあげますよ

!?

イヤッ

あああ
射精する

だめ…っ
外に



百合様の
なか
膣内
が精子で
いっぱいになるまで

施術を
続けましょうか



少しお仕事
長引いちゃった

ここだ…っ

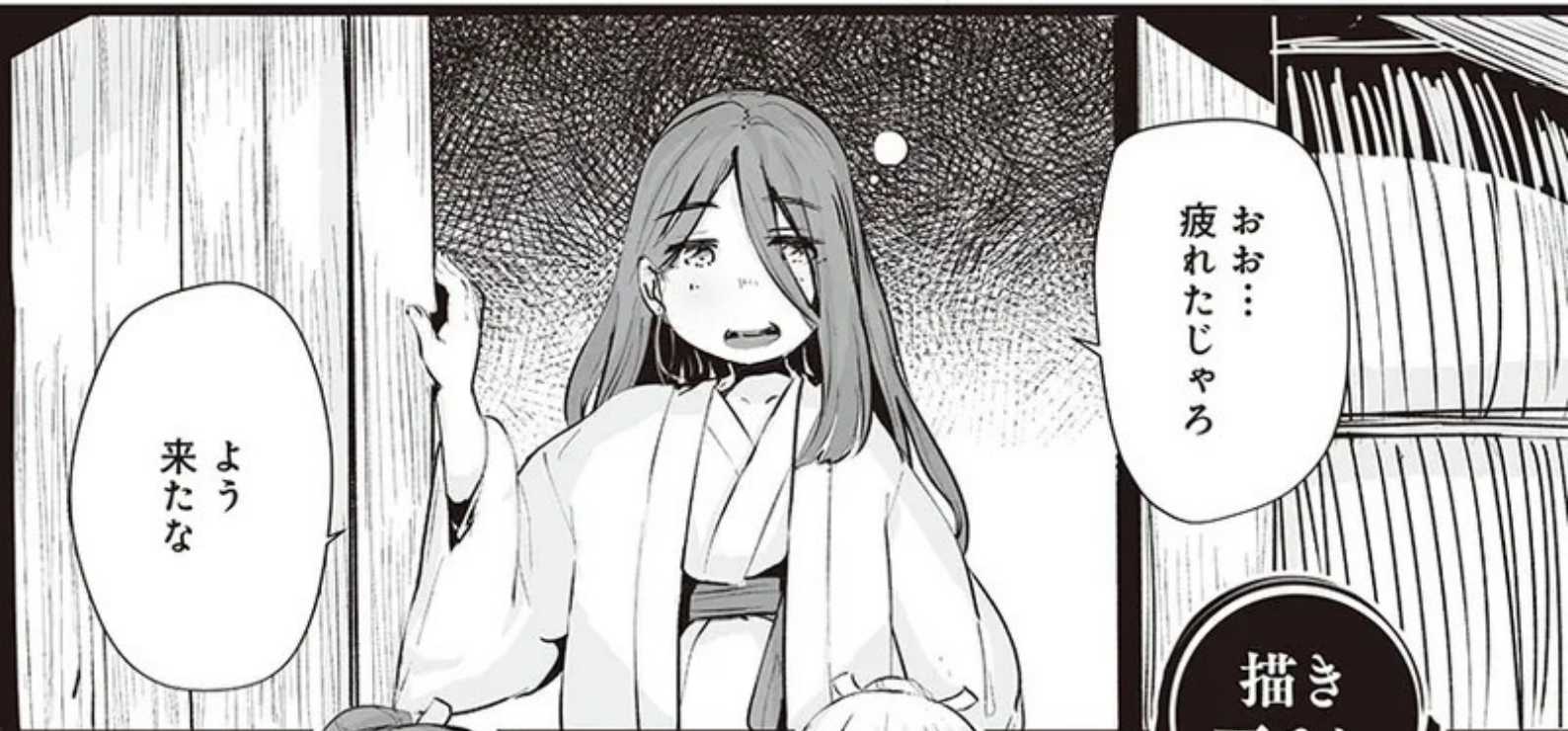
んー

急がないと…っ

おいお前

お前が狐神が
よこした女か？

素直に一人で来るとは…
バカな女だ



ト...
そういえば

高千穂様
って

何で
こんな山奥で
暮らしてるの？

…ふむ
そうじゃの

こらっ

そういうのは
ちゃんと事情が
あるんだから

もうなの？

まあ

今の生活は
そこそこ満足
しとる…

それでも
ここを出られればと
何度思ったことか…

高千穂様
…？

一生ここから
出られない

ここは私の
墓場なんじゃよ

いや巴も
知らんじやろが…

まあちようど
いい機会じゃな



遠い昔

神招きは
消耗品じゃった

それは
その身が
すり減り

魂が消滅
するまでの
契約

ゆえに
休む事も寝る事も
許されない



私はそんな
娘達を救い
たかった

だから娘達の
希望と救いを
与えられる様

私自身の身体と
その魂をもって
契約したんじや



私の契約と
……

全然
違う……

うむ……
そうじやろう？



それが
私がここに
いる理由
じやよ

お？



私が
変えたんじや

ごめん
高千穂様…

だ

あなたの顔
とてもつらそう
だったから

でも
話してくれて
ありがとうね

ちよっ…
これっ

大丈夫だよ
高千穂様

だったら次は
私達があなを
救ってみせるから

そんであの
エロジジイに
ぎやふんと
言わせてやる

え…?

だって
私達—

もう友達
でしょっ!

な—

すまんのう…

神隠しに遭った少女たちは「高天原」に迷い込む。

八百万の神々に犯され
黷られ続ける、
永遠の凌辱の島に――



prhs
perohasu

八百萬男

YAORYOZU
NABURI

やおよろずなふり

異界で処女を

競り落とされて

成年
コミック

occupai

神隠しに遭った少女たちは「高天原」に迷い込む。

八百万の神々に犯され
罵られ続ける、
永遠の凌辱の島に――



八百万騷り～異界で処女を競り落とされて
【単行本版】

著者 prhs
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。